

スマイル・通信

笑顔あふれる須磨のまち

兵庫県議会議員

伊藤 すぐる



兵庫県行政、兵庫県議会に激震

令和6年8月号



お亡くなりになられたお二人の職員に対して心よりの哀悼を捧げるとともに、残されたご家族に対して、心よりお悔やみを申し上げます。

片山副知事辞任、小橋理事の降格、井ノ本総務部長の病欠。県庁職員は抗議やご意見の電話対応に明け暮れる毎日と、異常事態が続いております。8月2日、百条委員会が開催され、3度目の傍聴を致しました。今回は、提出を求める資料の確認や、証人喚問時の留意点等の説明がありました。また、全県職員、約9700人を対象としたアンケートも開始され、8月1日現在で、3538人から回答があったとの報告が奥谷謙一委員長よりありました。今月23日と30日には関係する職員10人に対して出頭要請が行われ、30日には、いよいよ齋藤元彦知事への証人尋問を行い、本格的な調査が開始されます。真相究明の大きな一歩となるようお願いしております。県職員の皆様には何の落度も責任もありません。業務への影響も出ております。当件に対するお問い合わせ、抗議等のお電話は、お控えいただきますようお願い申し上げます。



第367回 6月定例会一般質問(続)

1. 神戸須磨パールの可能性について

■伊藤: 真珠養殖に対しての現在の取組状況、考え方を伺う。

■齋藤知事: 真珠産業は兵庫が誇る地場産業であり神戸の真珠ブランドの確立、新たな輸出市場の開拓、需要拡大に向けた情報発信などが重要。アコヤガイ不足には、須磨浦水産の意向に沿って水産技術センター等での稚貝確保、助言指導、産地の養殖状況等の情報提供など支援を進める。

2. 新生児聴覚スクリーニング検査の推進について

■伊藤: 海外では聴覚障害児は健常児より高率に自閉症スペクトラム障害を合併するとの報告がある。本県では発達障害を併せ持つ聴覚障害児の実態は把握されておらず、適切な評価、診断方法、効果的な支援方法は確立していない。全新生児に対するスクリーニング検査を実施すべきと考えるが、見解を伺う。

■齋藤知事: 誰1人取り残さない支援体制の構築を図っていく。すべての新生児に対して検査が実施されるよう医療関係者、市町と連携し対応する。

3. WKC (WHO 神戸センター) が兵庫県にある必要性について

■伊藤: 阪神淡路大震災より間もなく30年を迎える。WKCに対する兵庫県の役割を既に終えている。兵庫県は、WKCへの支援より能登半島復興に重きを置くことが、阪神・淡路大震災を乗り越えた我々の担った役割である。令和8年3月以降、WKCへの支援打ち切りを強く要望するが、知事の見解を伺う。

■齋藤知事: 多額の支援の継続は財政運営上大きな負担であると認識しており、第三期覚書の終期である令和7年度末が迫る中、本県の厳しい財政状況を明確に伝えた上で負担軽減を前提に検討を進める。



ノリの食害対策に向けたクロダイの行動研究

令和6年7月31日、須磨浦水産において調査結果の発表会が開催された。令和3年10月以前よりノリの食害のお話を伺っており、その犯人はクロダイであった。これは全国的な問題であるが、兵庫産のノリは、有明のノリを抑え2年連続生産量、生産高ともに日本一であり、兵庫県にとってより解決しなければならない課題である。須磨浦水産には、若手の職員が多く、人海戦術でノリ棚を網で囲う等の対策は可能であるが、同所のみでの対策では、他の地域に被害が増える恐れもあり、瀬戸内全体で調査結果を勘案し科学的に取り組む必要がある。



平成30年、台風被害により須磨海釣り公園が閉鎖。その後、ノリの食害が始まった。サーモン養殖時には、クロダイがノリ棚ではなく養殖場へ集まる等を考慮すると、ノリの食害はクロダイのお腹を満たすための行動であり、カロリー摂取の役割は果たされていない。ノリ棚近辺で捕獲したクロダイのお腹は、ノリで一杯ではあるが、消化されずに排出されることが確認された。海釣り公園では日々、多くの釣り人が訪れ、1日に何百キロの巻き餌がされていた。豊富な栄養源を得たクロダイが増加し、その閉鎖後に空腹を満たすためにノリを捕食する。クロダイは雑食性のため、時期によってはイカナゴ等の小魚も捕食しているはずである。シカやイノシシ等による農産物への被害も理屈は同じ。広葉樹を伐採し、杉、檜等の針葉樹を植樹する政策が長く推進された為、シカ、イノシシ等に必要な栄養源が山の木の実等から農作物になった。自然環境を人工的に変化させるのであれば、将来起こりうる課題を推測し同時に対策を行う重要性を実感した。



兵庫県では、シカやイノシシによる農業被害、カワウによる鮎の捕食被害、都市部においてのアライグマ等の被害に対し、県は、多額の予算を付け対策を行っている。クロダイによるノリの食害問題に対しても同じく施策を行う必要がある。調査研究発表の後、以下を提案した。「ノリ棚周辺に筏を設置し、釣り人の協力を得て、釣りでの捕獲を行う」ノリ棚周辺でのクロダイの捕獲は、釣りにより行う。冗談のような提案に感じるかもしれないが、ご協力いただく方々は、普段多い日には10尾以上のクロダイを釣り上げる正にエキスパートである。例えば、10人の方々に10日間のご協力をお願いすると、1000尾の捕獲が可能となる。漁業者と釣り人の協力は、釣り場の確保やゴミ問題、環境問題等を含めて兵庫県が抱える課題解決へ向けた大きな一歩となり得る。尚、新たなクロダイの生態が判明した調査結果では、研究員の高倉氏により論文化され、世界中へと発表された。詳細は、兵庫県立水産技術センター高倉良太研究員のHPよりご参照ください。<https://researchmap.jp/takakura>

兵庫県公館の須磨浦普賢象看板をリニューアル

令和元年2月2日、須磨浦公園に須磨浦普賢象が植樹される1年前、兵庫県公館に5本の黄桜が咲いているのを発見、それが全てのスタートでした。管財課へ須磨浦普賢象であるとの確認を行い、看板の設置を依頼しました。同時期、須磨浦公園への植樹を神戸市に要望しました。数週間後公館には、木製の立派な看板が設置されました。しかし最近、経年劣化で文字が読めない状態になっており、再度、新しい看板の設置を依頼しておりました。県庁3号館東側、議員駐車場入口にも立派な須磨浦普賢象があるんですよ！



県庁3号館東の須磨浦普賢象

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

伊藤すぐる事務所

〒654-0076 神戸市須磨区一ノ谷町 2-8-6 TEL.078-736-2858

兵庫県議会議員控室

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 TEL 078-362-3723 FAX 078-351-0772

Eメール hyogokengikai.ito.suguru@gmail.com

兵庫県議会ホームページにて
議会の録画映像が観られます。

